

2022 年度冬季における沖曳網でのホンモロコ漁獲物調査

寺井章人・根本守仁・磯田能年

1. 目的

ホンモロコの資源管理を進めるための基礎資料とする目的で、産卵直前の冬季に主要な漁法である沖曳網での漁獲物について年齢や体型を調査し、過年度の結果と比較した。

2. 方法

調査は、2023 年 1 月 18 日～2 月 18 日に、琵琶湖北湖の沖で沖曳網により漁獲されたホンモロコ 6,029 尾を対象に実施した。標本は、冷凍保存し解凍後に体長、体重等を計測した。過去の標本の体長体重関係から求めた体重の期待値(体重期待値 (g) = $2.52 \times 10^{-6} \times$ 体長 (mm)^{3.42}) と実測体重の比から肥満指数を求め、肥満状況の指標とした。年齢査定は鱗の輪紋の乱れを観察することにより行った。

3. 結果

年齢構成は、0 歳魚が 5,547 尾で 92.01%、1 歳魚が 434 尾で 7.20%、2 歳魚が 46 尾で 0.76%、3 歳魚が 2 尾で 0.03%であった。過年度の結果も含めて図 1 に示した。2022 年は近 2 年と比べ、0 歳魚の割合がやや高かった。体長について、0 歳魚では 79.60 ± 7.24 (平均

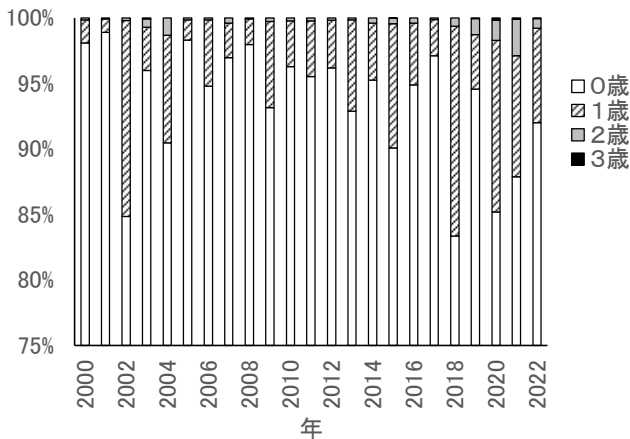


図 1 冬季に沖曳網で漁獲されたホンモロコの年齢構成

±標準偏差)mm であった。過年度の結果も含めて図 2 に示した。2022 年はやや大きかったが 2012 年以降平均体長が 80mm を越えることがなく小型化している。

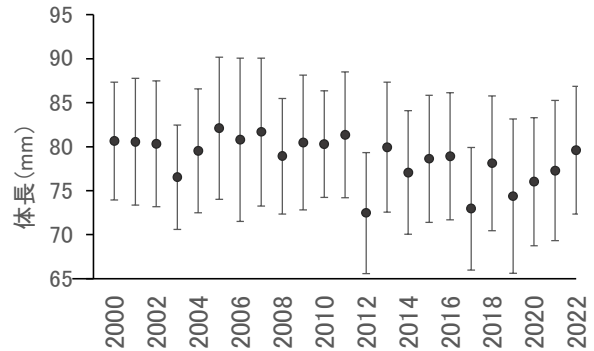


図 2 冬季に沖曳網で漁獲されたホンモロコ 0 歳魚の平均体長

※エラーバーは標準偏差

肥満指数は、2016 年以降低い値(痩せている)で推移しており、特に 2022 年は最も低い値であった(図 3)。

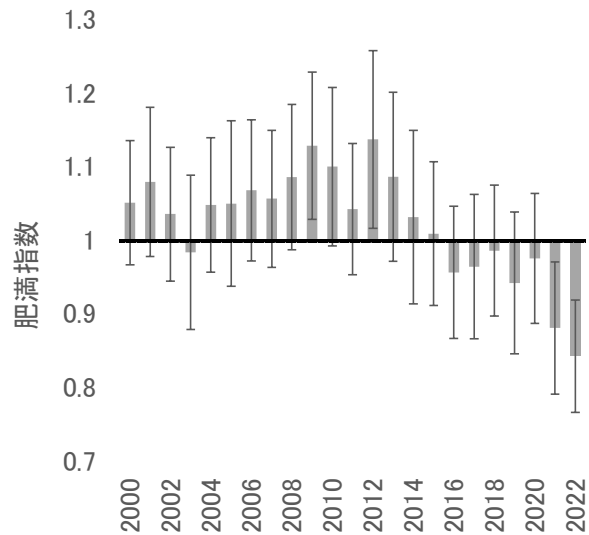


図 3 冬季に沖曳網で漁獲されたホンモロコ 0 歳魚の肥満指数

※エラーバーは標準偏差

本報告は、滋賀県資源管理協議会からの調査委託事業の中で行われた成果の一部である。